

ラジオNIKKEI

【オプション倶楽部】OP売坊戦略コースの新規会員を募集しています（第二回・30名・来年1月開始）。つきましては、12月18日（土）10時からオンラインで「入門セミナー」の開催を予定してします。詳細は「optionclub.net」をご覧ください。



『賢者のマーケットインサイト』資料

(2021年11月24日放送分)

- この資料は、ファイナンシャル・リテラシーの向上のみを目的として作成されたものです。
- したがって、いかなる投資勧誘の目的で作られた物ではございません。
- この資料での数値などにつきましては、信頼できる筋からの情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。
- 投資につきましては、あくまで、自己責任でお願い申し上げます。
- 日経OP売坊は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

2021年12月限・2022年1月限SQ日までの注目イベント (P.2)

<米国>

- 11月25日: FOMC議事録公表
- 12月03日: 雇用統計
- 12月10日: 11月CPI
- 12月15日: FOMC
- 12月22日: GDP(確定値)

10月の米CPI(消費者物価指数)が前年同月比6.2%上昇となりました。この結果、金利引き上げが早まったり、最初の利上げ幅が0.25%ではなく、一気に0.5%となる可能性も出てきたと考えています。それを示唆するようなコメントがあるかに注目しています

<欧州>

- 11月30日: 消費者物価指数(速報)
- 12月07日: GDP(確報値)
- 12月17日: 消費者物価指数(改定値)

<日本・世界>

- 11月30日: 失業率、鉱工業生産(速報)
- 11月30日: 【中国】製造業PMI
- 12月08日: 実質GDP(2次速報)
- 12月28日: 失業率、鉱工業生産(速報)
- 12月30日: 大納会
- 01月04日: 大発会



※SQ日は期近(月次・週次)の未決済建玉が清算されるためオプショントレーダーにとって区切りとなる日です。

2021年 11月

日	月	火	水	木	金	土
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2021年 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

12月18日
に入門セ
ミナーを
開催いた
します

2022年 1月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	

	日経225ウィークリーオプションのSQ日
	日経225ミニ先物・オプションのSQ日
	日経225先物・ミニ先物・オプションのSQ日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ・ロイターなどから管理人作成





OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 新型コロナ変異株と感染再拡大
- 🐘 TOPIX・日経平均株価の採用・計算方法見直し、取引要綱の変更
- 🐘 米国金利の動向(テーパリング開始後の金利上昇)
- 🐘 **パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長再任(ブレイナード氏は副議長に)**
- 🐘 日米中の財政悪化と増税
- 🐘 中国不動産バブル崩壊
- 🐘 物流問題(海運も陸運も)と年末商戦
- 🐘 **バフェット指数の異常値** (10月27日資料参照)
 米国株:210.2(11月18日概算)、215.3(11月8日概算)
 日本株:159.7(11月18日概算)、161.7(11月4日概算)



中国恒大集団の創業者は自宅を抵当に入れたり、美術品、ジェット機を売却したりと資金繰りに奔走中のようです。一方、不動産子会社の売却がとん挫。今後、利払いができない可能性も残っています(12月28日に総額2億5500万ドル超の利払期限)。また、できたとしても元本を償還できるかは、まだまだ不透明です

🐘 **日米M2伸び率の差が株価の差か(3万円の壁)?**

🐘 **物価高が景気後退・株安につながるか?**

🐘 **日本株の信用倍率が高水準に**

🐘 **12月限のメジャーSQで日経平均は荒れるか? など**

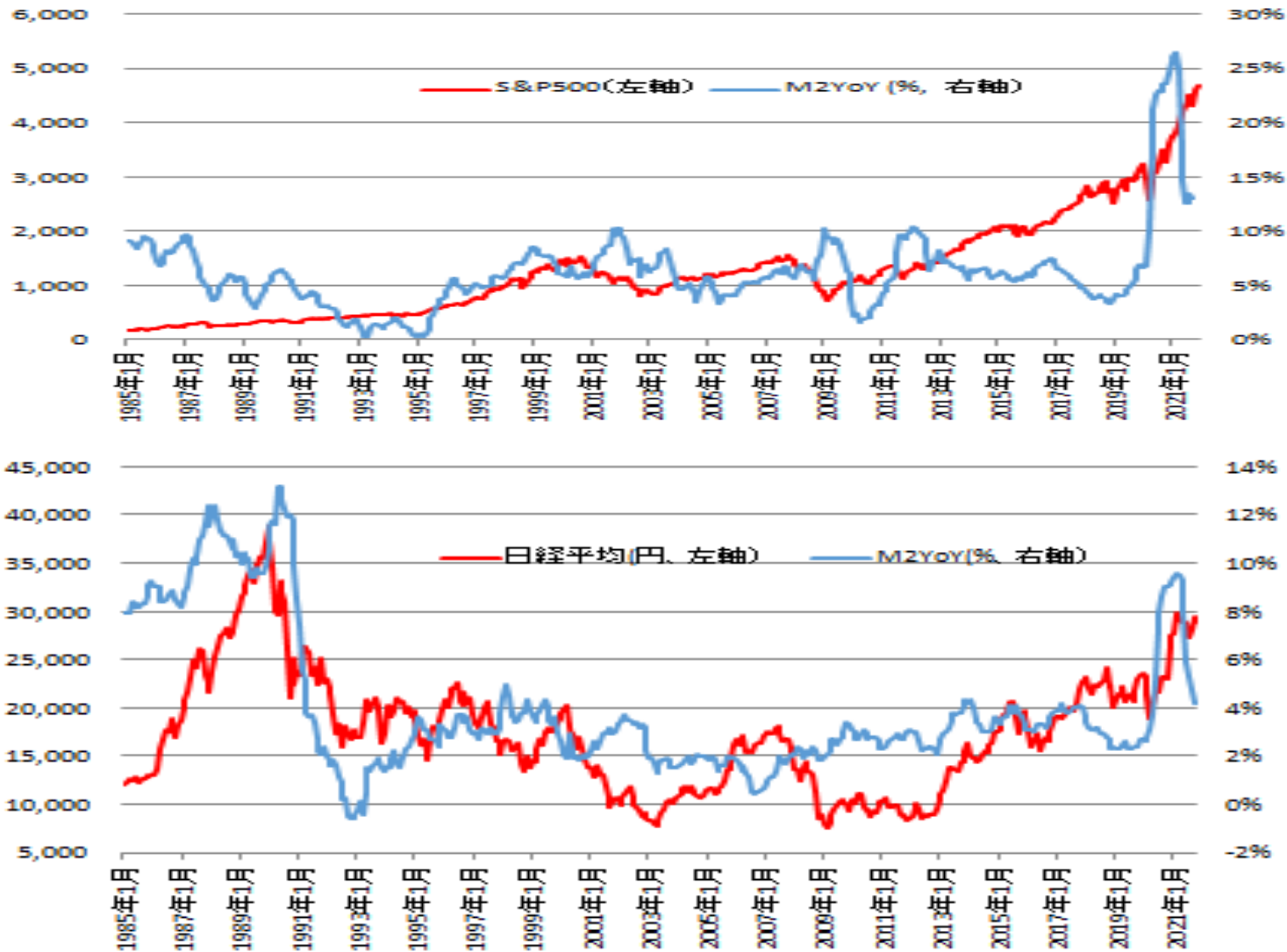


グレイ・リノ(灰色のサイ)とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが起これば、大きな値幅が出るため、オプション投資家に重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



日米M2伸び率の差が株価の差か？ (P.4)

青線は米国と日本のM2（通貨供給量:マネーストック）前年比（右軸、%）



株価は名目値ですから、市中におカネが増えれば、上がりやすくなります。逆もそうです



通貨供給の鈍化が日米株バブル崩壊の引き金になる可能性があると考えています

米国はまだ2桁の伸びですが、日本は急速に伸びが鈍化しています

出所) FRB、日銀、ブルームバーグより筆者作成 (マネーストック: 米国9月、日本10月)



日経平均が30000円の壁を突破するには (P.5)

PER (株価収益率) = 株価 ÷ EPS (1株当たり利益)

	EPS	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0	15.5
入力欄(下限)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1975	23,700	24,688	25,675	26,663	27,650	28,638	29,625	30,613
	2000	24,000	25,000	26,000	27,000	28,000	29,000	30,000	31,000
	2025	24,300	25,313	26,325	27,338	28,350	29,363	30,375	31,388
2,088.90	2050	24,600	25,625	26,650	27,675	28,700	29,725	30,750	31,775
-0.7%	2075	24,900	25,938	26,975	28,013	29,050	30,088	31,125	32,163
0.5%	2100	25,200	26,250	27,300	28,350	29,400	30,450	31,500	32,550
1.7%	2125	25,500	26,563	27,625	28,688	29,750	30,813	31,875	32,938
2.9%	2150	25,800	26,875	27,950	29,025	30,100	31,175	32,250	33,325
4.1%	2175	26,100	27,188	28,275	29,363	30,450	31,538	32,625	33,713
5.3%	2200	26,400	27,500	28,600	29,700	30,800	31,900	33,000	34,100
6.5%	2225	26,700	27,813	28,925	30,038	31,150	32,263	33,375	34,488
7.7%	2250	27,000	28,125	29,250	30,375	31,500	32,625	33,750	34,875
8.9%	2275	27,300	28,438	29,575	30,713	31,850	32,988	34,125	35,263
10.1%	2300	27,600	28,750	29,900	31,050	32,200	33,350	34,500	35,650
11.3%	2325	27,900	29,063	30,225	31,388	32,550	33,713	34,875	36,038
12.5%	2350	28,200	29,375	30,550	31,725	32,900	34,075	35,250	36,425
13.7%	2375	28,500	29,688	30,875	32,063	33,250	34,438	35,625	36,813
14.9% (上昇率)	2400	28,800	30,000	31,200	32,400	33,600	34,800	36,000	37,200

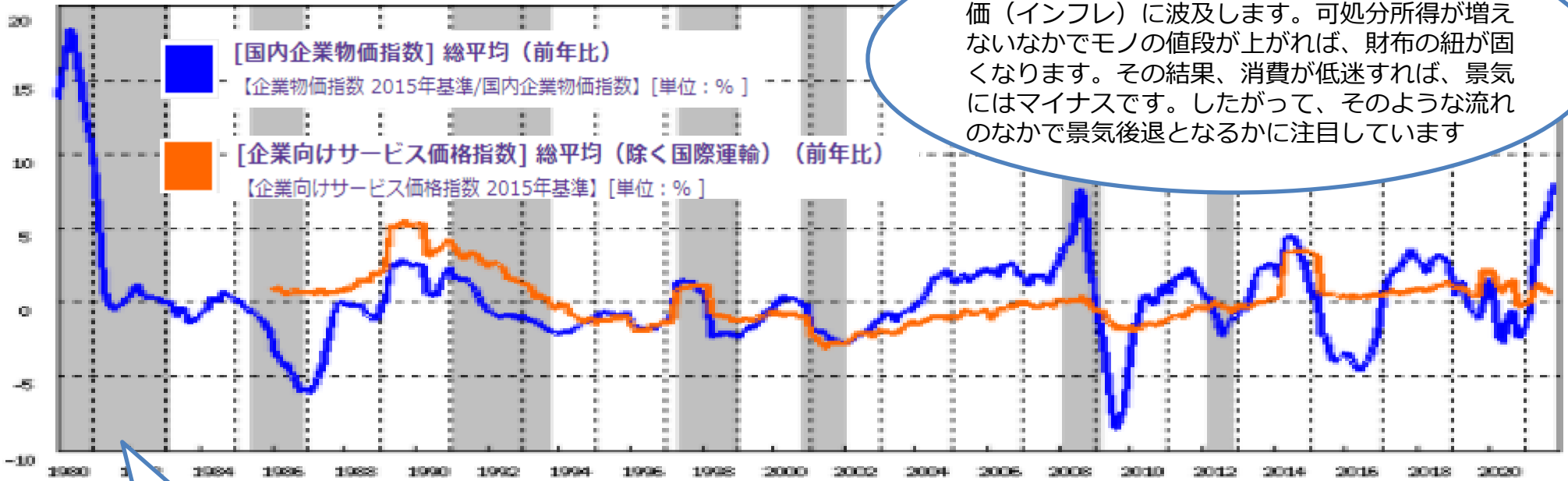
日本経済新聞社では各225採用銘柄の業績予想から日経平均の予想EPSを出しています。SBGの9月中旬連結決算で最終利益が前年同期比80.7%減となりました。この発表を含めた翌日の予想EPSは約150円下がって2026.67となり、PERは14.45となりました

この表から想定される株価を実現するにはEPS(企業業績)とPER(歴史的に12.0~15.5のレンジで推移することが多い)がどの組み合わせで達成できるかのイメージをつかめます。黄色の網掛けをした部分は、日経平均が3万円以上となる組み合わせです



物価高が景気後退・株安へつながるか？ (P.6)

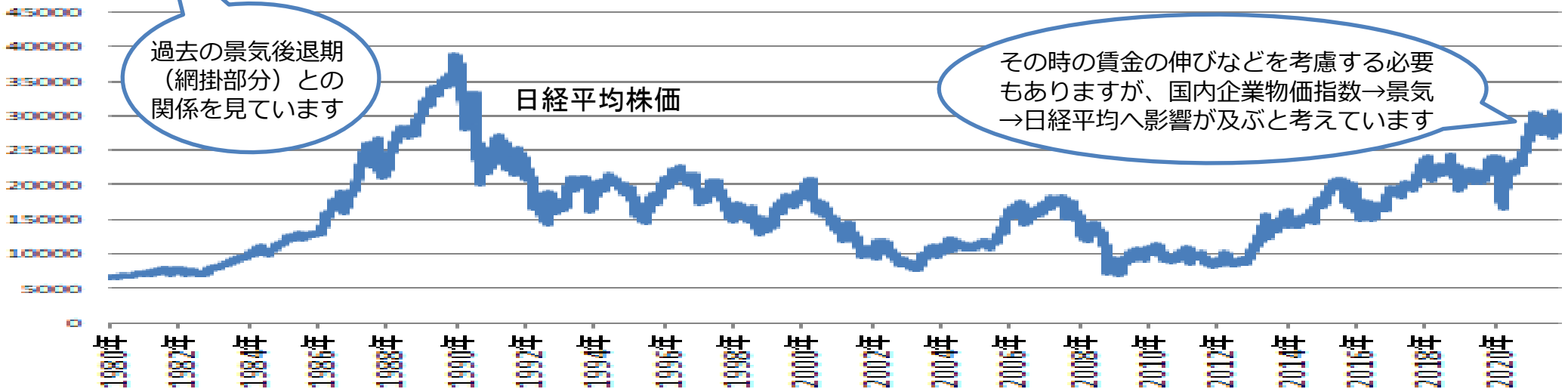
国内企業物価指数 = 企業間で売買されるモノの価格動向



国内企業物価指数が上昇すれば、結局は消費者物価（インフレ）に波及します。可処分所得が増えないなかでモノの値段が上がれば、財布の紐が固くなります。その結果、消費が低迷すれば、景気にはマイナスです。したがって、そのような流れのなかで景気後退となるかに注目しています

過去の景気後退期（網掛部分）との関係を見ています

日経平均株価

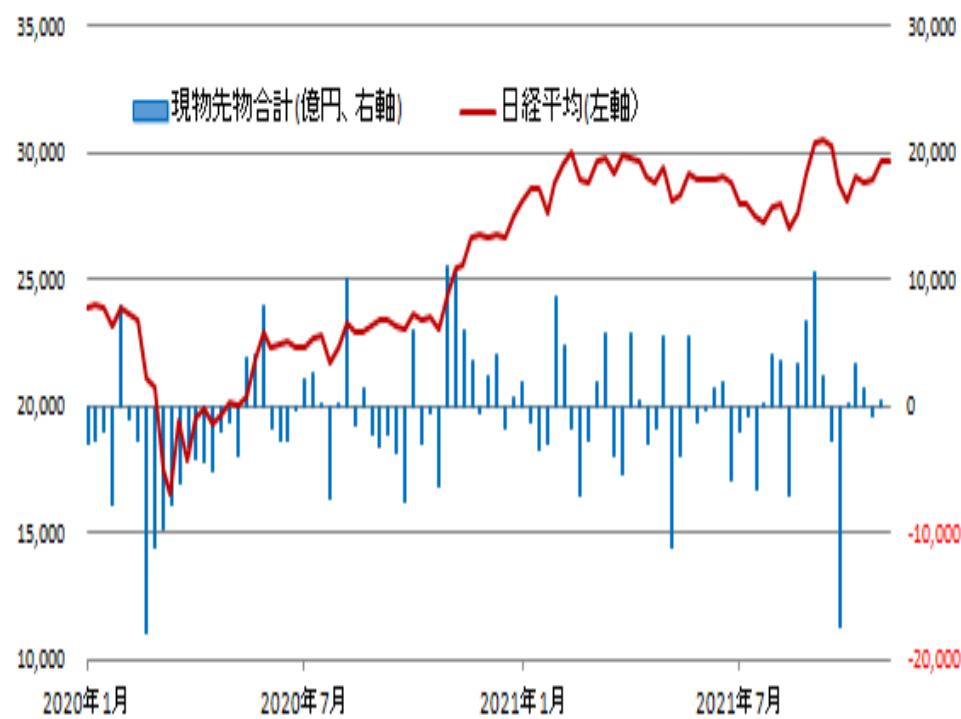
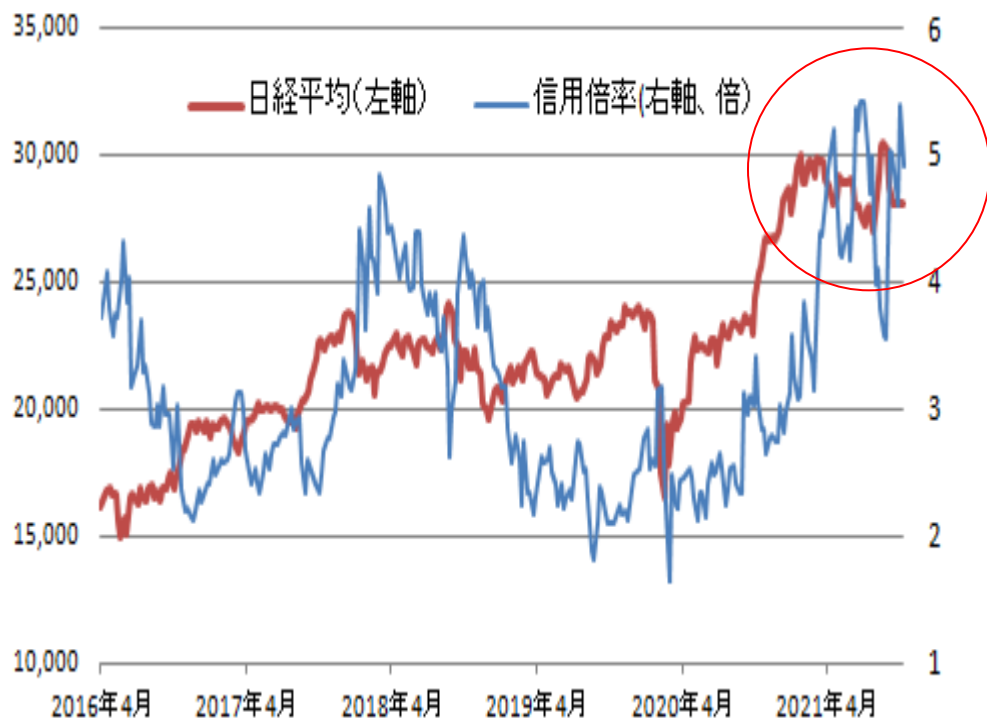


その時の賃金の伸びなどを考慮する必要がありますが、国内企業物価指数→景気→日経平均へ影響が及ぶと考えています



日本株の信用倍率が高水準に (P.7)

信用倍率 = 信用取引の買い残を売り残で割ったもの (倍率が高いほど買いが相対的に多い)



信用倍率から「おカネを借りてでも、つまりレバレッジをかけてでも買おうとする人が多い状況か」みえてきます。5倍以上は、かなり高い水準です。少なくとも3倍台前半にまで戻らないと過熱感は払拭できないと考えています



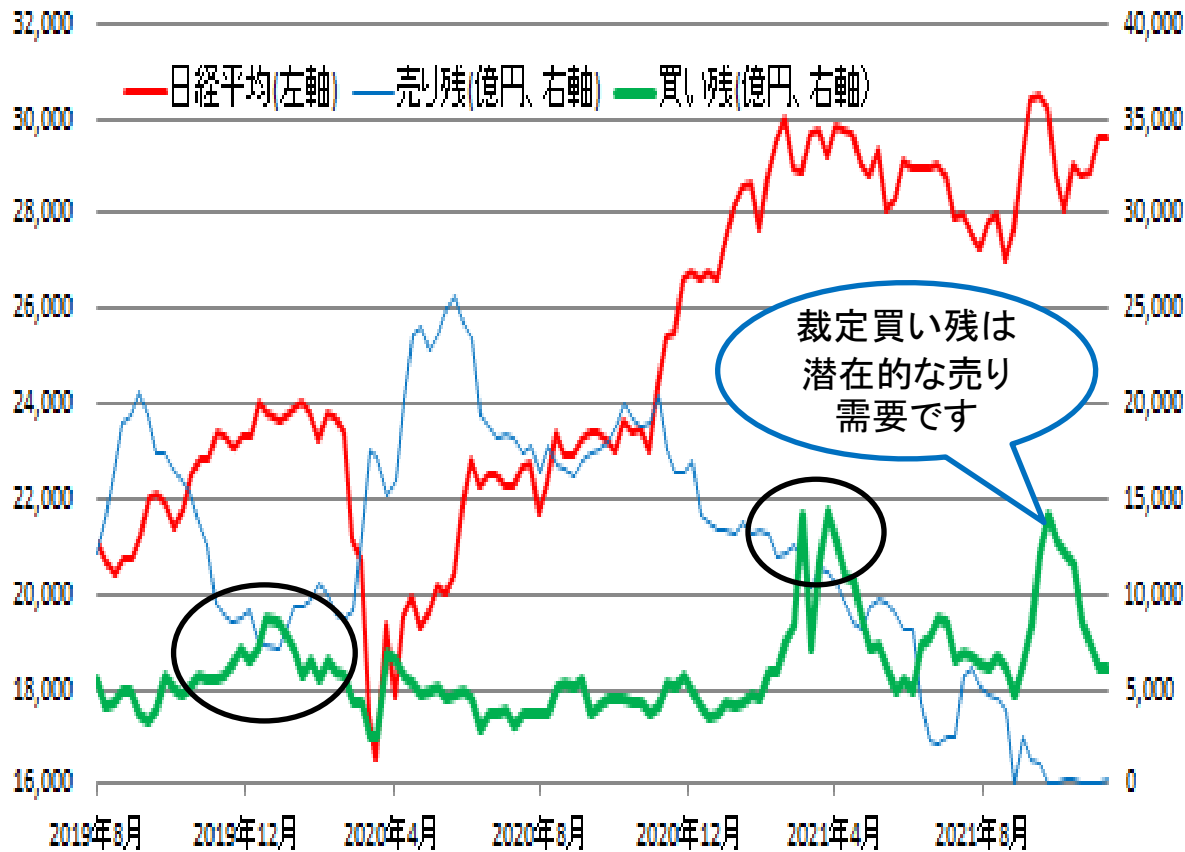
現物先物合計 (= 現物買い + 現物売り + 先物買い + 先物売り) から日本株市場の主要参加者である海外投資家は、様子見でした。少なくとも海外投資家が買わないと上値は重そうです

出所) JPX、ブルームバーグ等より筆者作成(2021年11月12日現在)



12月のメジャーSQは荒れるか？ (P.8)

買い残 = 現物買い・先物売りによる裁定取引の大きさを示す



	SQ前日引け値	SQ	差
2019年12月	23,424.81	23,895.88	471.07
2020年1月	23,739.87	23,857.19	117.32
2020年2月	23,827.73	23,744.71	-83.02
2020年3月	18,559.63	17,052.89	-1,506.74
2020年4月	19,345.77	19,577.48	231.71
2020年5月	19,674.77	20,073.69	398.92
2020年6月	22,472.91	22,071.46	-401.45
2020年7月	22,529.29	22,601.81	72.52
2020年8月	23,249.61	23,350.79	101.18
2020年9月	23,032.54	23,272.88	240.34
2020年10月	23,647.07	23,724.23	77.16
2020年11月	25,520.88	25,480.28	-40.60
2020年12月	26,754.24	26,713.47	-40.77
2021年1月	27,490.13	27,774.95	284.82
2021年2月	29,562.93	29,718.77	155.84
2021年3月	29,211.64	29,282.41	70.77
2021年4月	29,708.98	29,909.73	200.75
2021年5月	27,448.01	27,748.22	300.21
2021年6月	28,958.56	29,046.40	87.84
2021年7月	28,118.03	27,726.72	-391.31
2021年8月	28,015.02	28,093.15	78.13
2021年9月	30,008.19	30,085.93	77.74
2021年10月	27,678.21	28,098.14	419.93
2021年11月	29,277.86	29,388.47	110.61

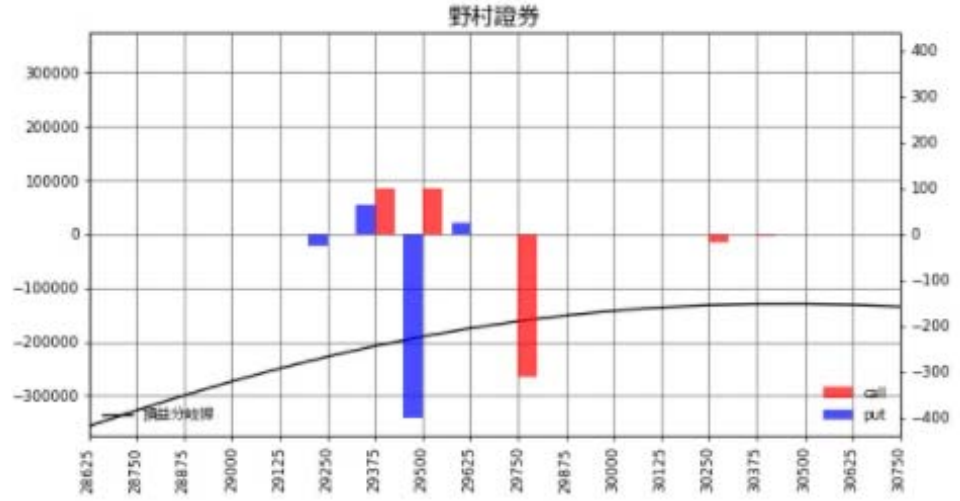
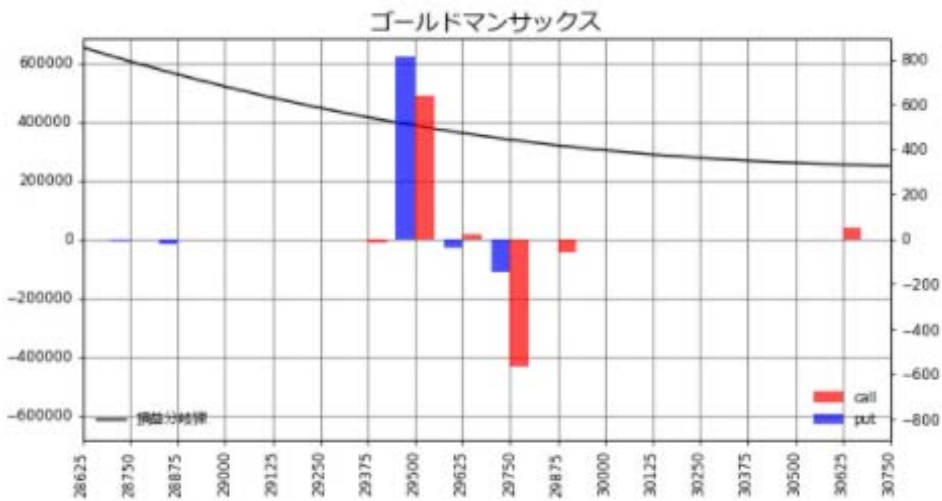
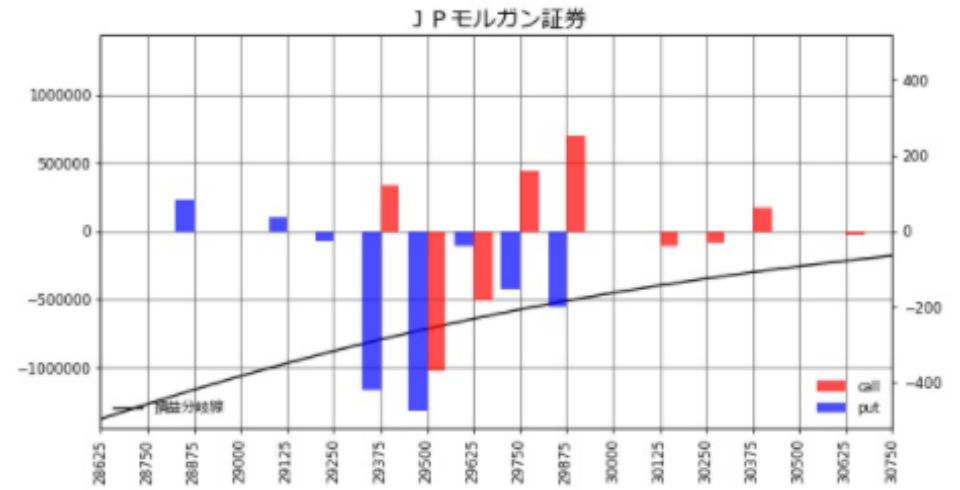
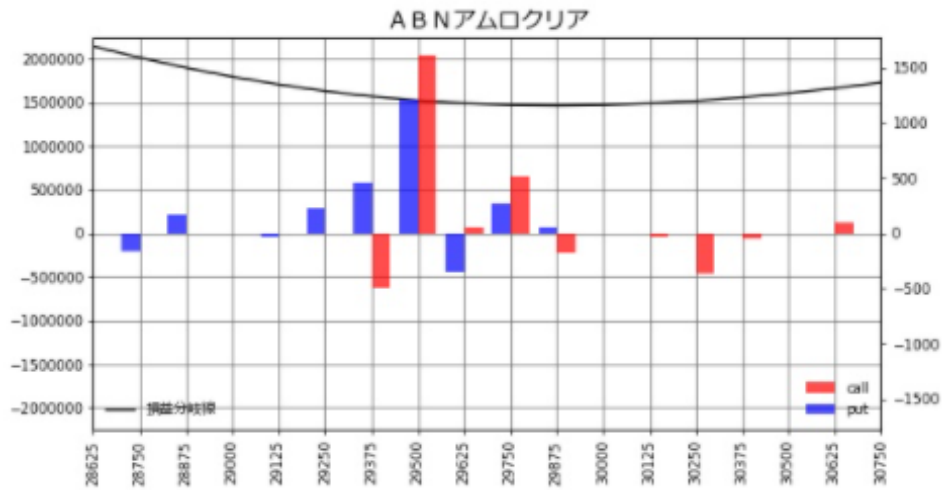
現物株225銘柄で計算される日経平均株価と日経225先物(直近限月)は必ずSQで同じになる仕組みとなっています。したがって、両者のうち割安なものを買ひ、割高なものを売ることができれば、サヤが抜けることになります

メジャーSQ日には裁定のポジションや、大きなポジションを取れるラージの日経225先物が決済を迎えます。誤解を恐れずに申し上げますと、資金力が大きい投資家が株価を動かしやすいということになります

出所) ブルームバーグ等より筆者作成(11月12日現在)



大口投資家の動向に注目 (P.9)

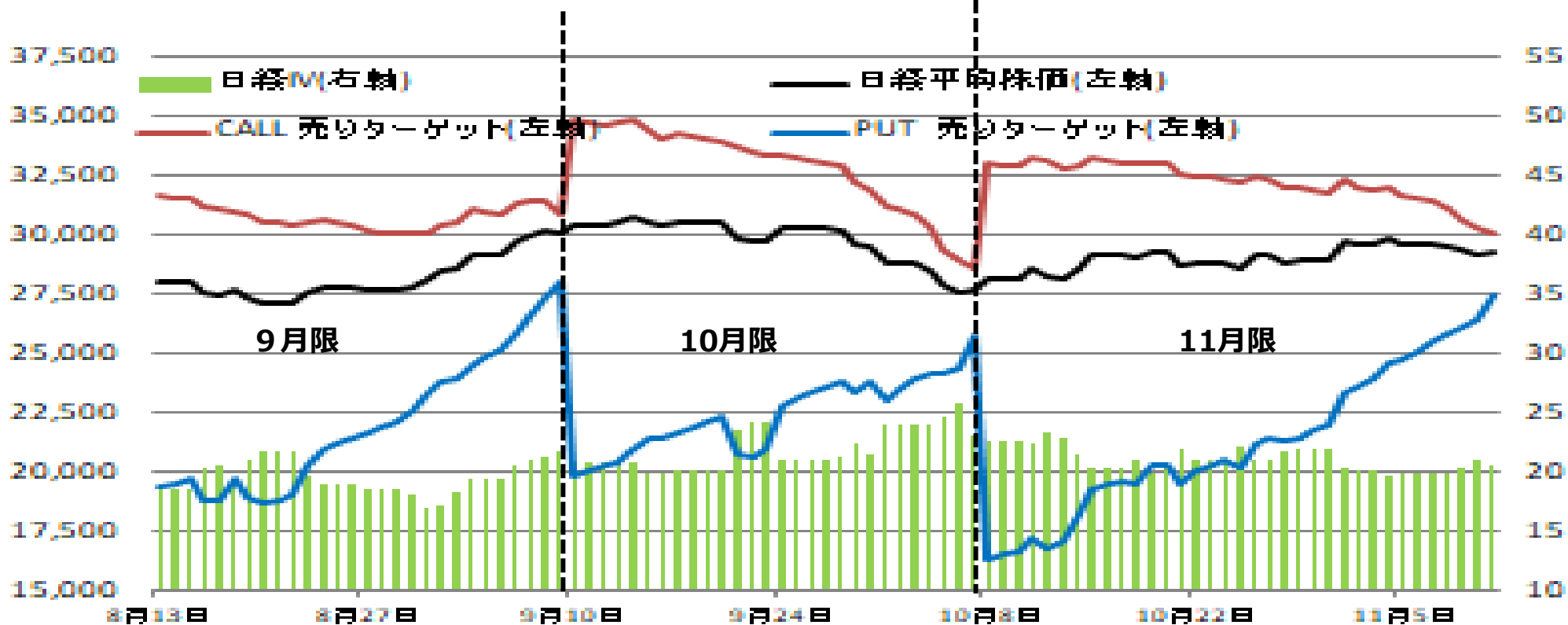


現状で建玉の大きな外資系3社と日系1社から選びました。外資系は裏側にCTA（先物投資顧問）など先物・オプションで運用するファンド等を顧客に抱えており、また日系は年金などが顧客だからです

出所) <https://matsuto.site/> (2021年11月16日現在)

9月限～11月限の振り返り (P.10)

OP売坊戦略コースの基本戦略は、確率から計算した「売りターゲット」を基準に仕掛けていく期近の月次CALL売り



出所)ブルームバーグより筆者作成(2021年11月12日現在)

売り戦略では日経平均が膠着するのが理想的です。なお、1年を通じて、膠着している日数のほうが、上昇・下落している日数よりもはるかに多いため、売り戦略のほうが合理的と考えています。もちろん、ブレそうなときは、その対処法がノウハウですし、逆に「**買い戦略**」を考えられます

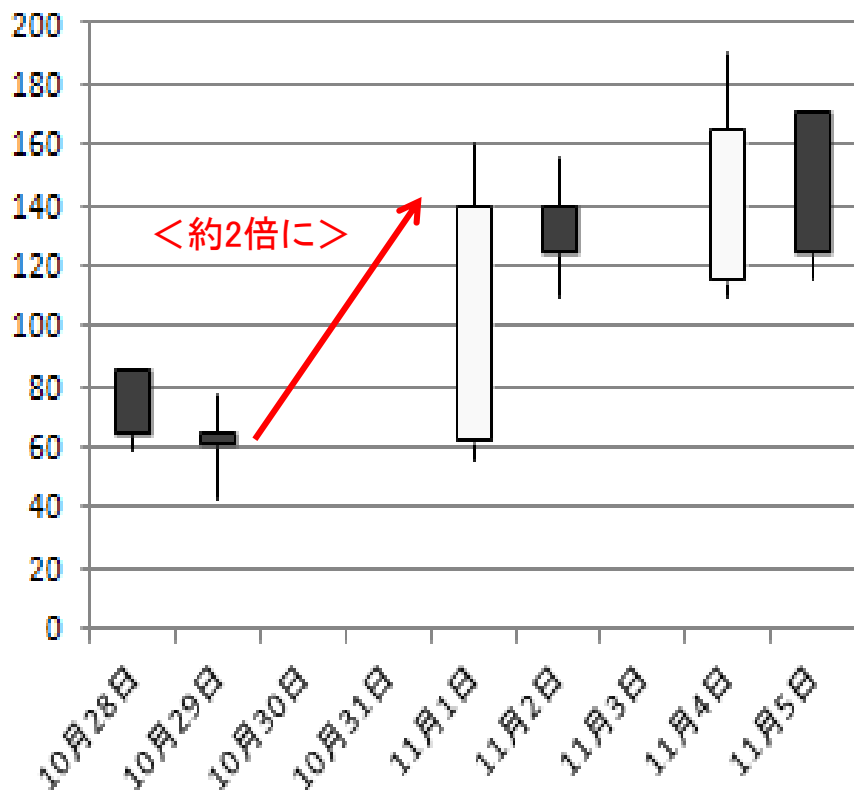


CALLの価格・証拠金の動きはPUTよりも相対的に小さく、よってリスクが相対的に小さいため、オプションを理解し、経験を積むのに適していると考えています。また、CALLの特徴を修得することでPUTの動きを理解してトレードするのも役立つと考えています

オプション買い戦略の例① (P.11)

衆議院選挙に基づいたトレードは結果として**CALL買い**に収益機会があった

<12月限 31000CALL>



<10月27日放送分より>

現有勢力		
自民党	276	59%
公明党	29	6%
合計	305	66%
議席数	465	100%

市場の予想	
A)	自民単独過半数 (233議席)
B)	自公で過半数
C)	自公で過半数割れ

あなたの予想	
①	自民単独過半数
②	自公で過半数 (自民単独過半数割れ)
③	自公で過半数割れ

結果	確率	戦略例	損失限定
①-A)	%	OTM CALL売り	X
①-B)	%	CALL レシオSP, カレンダーSP(CALL)	X, X
①-C)	%	ブルCALLSP	◎
②-A)	%	OTM CALL売り	X
②-B)	%	OTM CALL売り	X
②-C)	%	CALL レシオSP, カレンダーSP(CALL)	X, X
③-A)	%	PUT買い, カレンダーSP(PUT)	◎, X
③-B)	%	ベアPUTスプレッド	◎
③-C)	%	PUT レシオSP	X

注) カレンダーSP=期近物売り+期先物買い

イベントがある日や異常値が出た場合は**買い戦略**もあります。オプション価格が2~10倍となることを期待して仕掛けます。オプションは日々「時間的価値」が減少していくため、基本的に買い戦略は短期トレードです

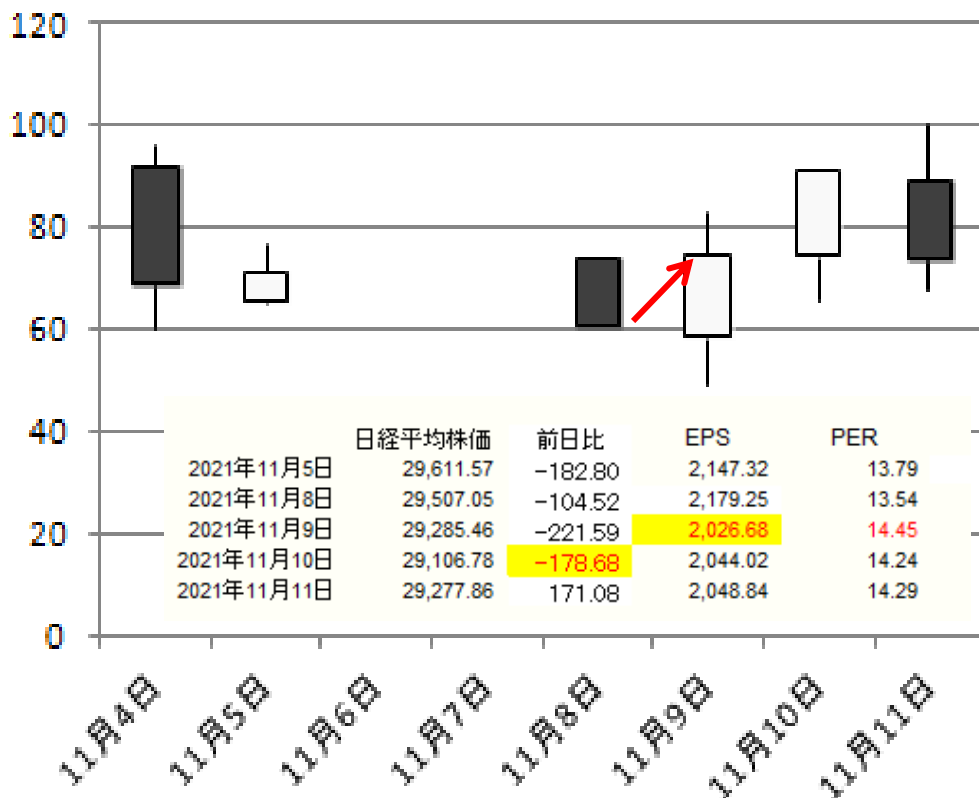
オプション買いには先物よりも損失限定で変化率も大きいという優位性があります。収益を絶対額ではなく収益率で考えると投資効率が良くなります



オプション買い戦略の例② (P.12)

SBGの減益発表に基づいたトレードは結果としてPUT買いに収益機会があった

<12月限 26250PUT>



<OP売坊戦略コース「アラートメール」より>

実践 オプション

2021/11/09 (火) 18:52

宛先:

通信講座受講者様

お世話になっております。

昨日のSBGの決算を反映して、本日の予想EPSは約150円下がり、2026.68となり、PERは14.45となる予定です。

取り急ぎご連絡まで。
よろしくご高覧下さい。
OP売坊

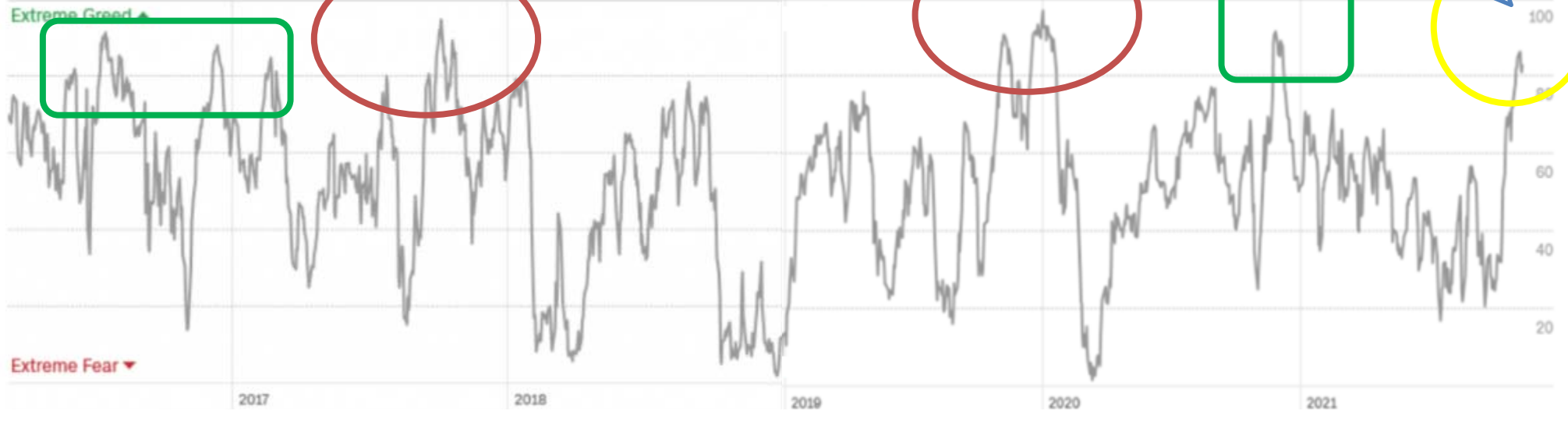
暴騰・暴落注意報など市況に応じてアラートメールを会員様へ直接送信しています



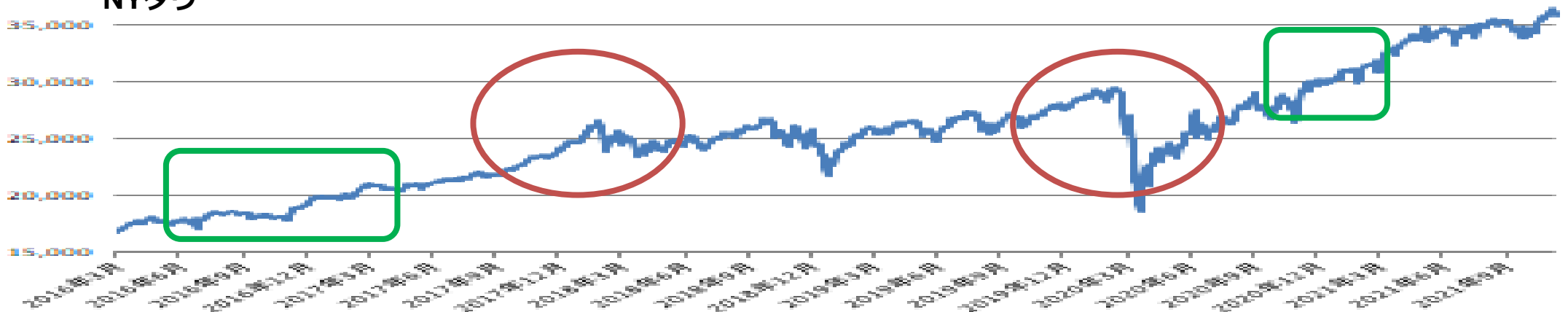
Fear&Greed(恐怖・強欲)指数が米国株の過熱感を示唆 (P.13)

Fear&Greed指数 = 市場参加者の恐怖度・強欲度をVIXなど7つの要素から算出した指数

加熱時が100%下落を示唆しているわけではありませんが、要警戒となります



NYダウ

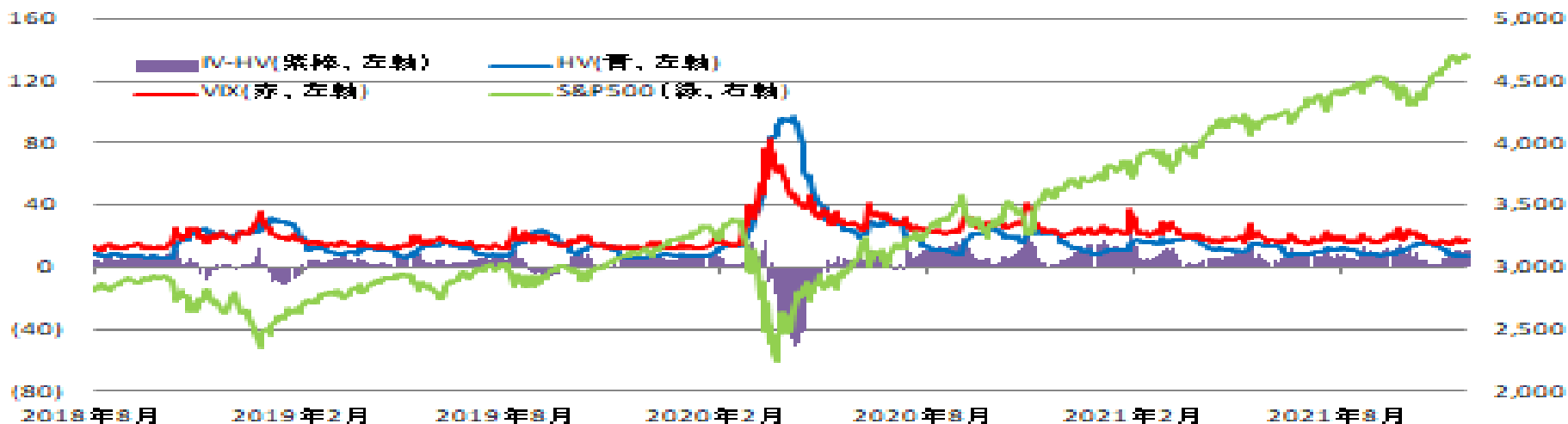


出所)CNNおよびブルームバーグより筆者作成(2021年11月12日現在)

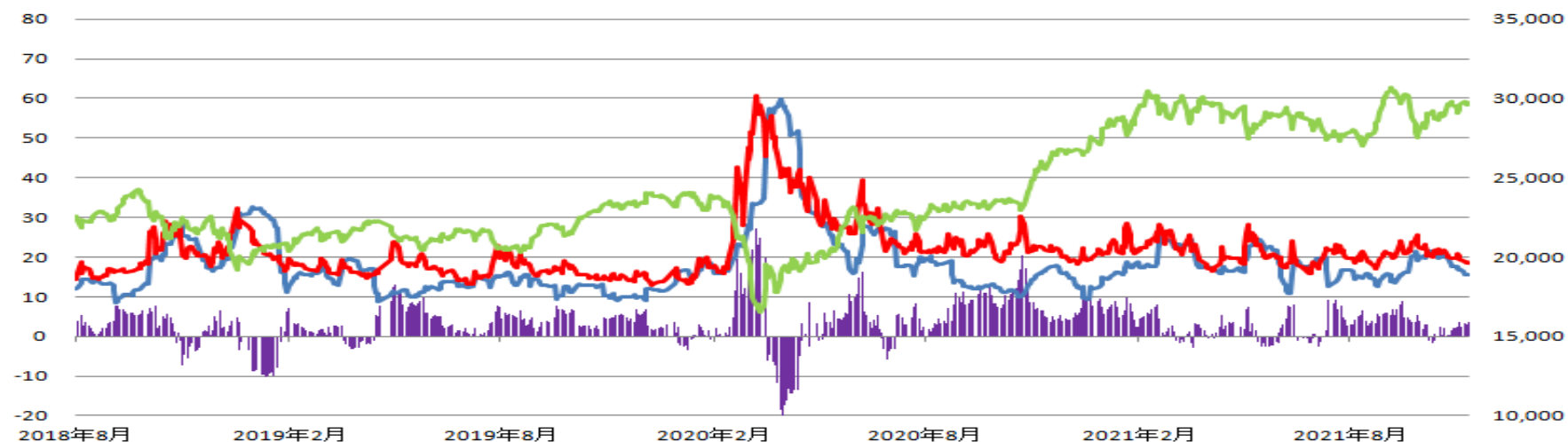
HVとIVは日米相場の状況を語り掛けてくれる情報源 (P.14)

OP売坊戦略コースではこのような分析方法をご紹介します

S&P500 (緑、右軸)、HV (青、左軸)、IV=VIX指数 (赤、左軸)、IV-HV (紫棒、左軸)



日経平均 (緑、右軸)、HV (青、左軸)、IV=日経VI (赤、左軸)、IV-HV (紫棒、左軸)



出所)ブルームバーグ、日本経済新聞より筆者作成(2021年11月19日現在)

OP売場の重要視しているもの (P.15)

確率、勝率、収益率
パターン分析(時系列、分布)
資金管理、リスク管理
簡単、シンプル

本日の番組資料は、番組HPまたはオプション倶楽部HP (optionclub.net) から取得できます。過去に私が出演したときの資料やフォローアップ記事などの情報も配信しておりますので、ぜひぜひご登録ください！



オプション倶楽部



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

ブログ「実践日経オプション教室」

www.jissennkop.blog.fc2.com

Copyright (c) 2019-2021日経OP売坊

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.